【2007年3月から2013年10月の間、腹部造影CT検査を施行された患者さんへのお知らせ】

〈膵癌のCT secondary signsと病理組織学的所見との関連：後ろ向き研究による検討〉

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2007年3月から2013年10月の間、当院で腹部造影CT検査を施行された方につきまして、膵癌の腫瘍検出におけるCT secondary signsの有用性を検討するための後方視的調査研究を実施いたします。

膵癌のCT検査時に観察される腫瘍に伴う二次的な所見の有無と手術で得られた病理学的所見との関連性を明らかにし、膵癌の腫瘍検出における造影CT検査の有用性をより明確にすることを目的としております。

調査実施期間は倫理委員会承認日から2年間の予定です。

1. 治療介入を伴わない「疫学研究」で、既存資料のみを用いた研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。なお研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。
2. 研究に関してご質問のある方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先：放射線科（画像診断1）　玉田　勉

電子メール：　ttamada@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:　086-462-1111

FAX:　086-464-1123